

## 11 カワバタモロコ

(コイ科)

兵庫県ランク:A

*Hemigrammocypripis rasborella*

環境省ランク:EN

## 種の概要

全長4cm程度。小型の水生生物や藻類を主に食べるが、落下昆虫等も食べる雑食性。河川下流域・氾濫原の一時的水域を利用していたと考えられ、産卵期は梅雨時の6月。雌に複数の雄が群がり、水草や藻に粘着卵を産み、1年で成熟する。日本固有種で本州中部以西、四国の瀬戸内海側、九州北部に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

## 県内における生息状況及びその他特記事項

かつては播磨西部の揖保川、大津茂川、神戸阪神地域の妙法寺川などにも分布していたが、現在カワバタモロコが見られるのは武庫川と加古川流域の隔離された小さなため池10数か所のみである。

## 保護上の留意点

野外での観察事例から、共存できる魚種はミナミメダカなどに限られ、フナ類やコイとの共存は難しいと考えられる。競争種・捕食者の欠けた一時的水域では高い増殖率を示す例がある。洪水氾濫の役割を人為的に担うか、氾濫を許容し一時的水域が創出される土地利用・河川整備計画をたてることで、本種の増加につながると考えられる。

## 県内分布

神戸市、三田市、西脇市、三木市、小野市、加西市、姫路市、たつの市、篠山市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

## 主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	○
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

